

みやぎ教育応援団に所属しております、めばえ丸スクールアートプロジェクトです。

私たちが2011年より取り組んできました、小学校の総合学習「地元の良さをPRしよう」の学習支援活動ですが、その具体的事例として登米市立石森小学校での取り組み内容をご紹介します。

登米市立石森小学校は、萬画家・石ノ森章太郎先生の出身校で、学校のすぐ近くに先生の生家があり、記念館があります。ところが小学生児童の間では、「石ノ森章太郎」の名前は知っていても、どんな人物だったのかを知る機会がほとんどありませんでした。

一方で、章太郎先生は晩年に「マンガを活かした夢のあるまちづくり」と題して、ふるさとの町の小さな公民館で講演会を開きました(1997年3月)。そこで先生は目に涙をためて、ふるさとの町を良くしたいと力説されていたそうです。

先生の真摯な想いを、先生が愛するふるさとの、今の子どもたちに伝えられないものか。ふる

さとを大切に想う先生のスピリットを、今にいかすことにはできないものか……。

そこで、石ノ森マンガ好きの、石ノ森章太郎ふるさと記念館友の会の一会員が発起人となり、先生の母校の石森小学校とふるさと記念館に呼びかけて、プロジェクトチームを立ち上げました。このチームで章太郎先生を題材に地元の良さをPRする活動を企画検討し、その内容が小学校の総合学習の授業として採用され、地域の人たちを巻き込みながら、章太郎先生の想いを今に伝える夢プロジェクトとして年々つながっていききました。

「めばえ丸スクールアートプロジェクト」は、この取り組み活動のなかから生まれた夢の実現部隊です。

それでは、私たちの取り組み事例をご紹介します。章太郎先生が作品中で描いてきた「夢みることの大切さ」に敬意を表し、ものがたり風にご紹介したいと思います。

学習支援活動のご紹介

登米市立石森小学校の総合学習「地元の良さをPRしよう」

めばえ丸スクールアートプロジェクト



みんなの宝箱

石ノ森章太郎先生の生家の二階には、先生が子供の頃に大事にしていた「宝箱」が飾ってあります。がっしりした造りの、少しこぶりの木箱です。実は私にも小さな頃から大事にしている宝箱があります。成長して大人になつてすっかり宝箱の存在を忘れていましたが、章太郎先生の宝箱をみて、はっと思い出しました。「そうだ。あの宝箱を取り出してみよう！」

そこで私は宝箱を探し出し、エコキャップ(ペットボトルのふた)という『夢の種』をためしに入れてみました。一か月後、私は宝箱のふたをゆつくりとあけてみました。すると、キャップは二つになって仲間が増えていました。その後……、

母校の石森小学校の校庭にひろがって、「エコツチくん」という地上絵になりました。

宝箱からあふれ出たキャップは2012年に、東日本大震災で甚大な被害を蒙った石ノ森萬画館の再オープンをお祝いする「萬」の字に、2013年には、登米市の観光PRキャラクター「はつとん」に変身してきました。こうして、夢の種から芽生えたエコキャップ活動は、章太郎先生のふるさとを舞台に、『力をあわせてよいことをして、交流の虹の橋を渡す』石森小の総合学習活動となりました。今では、章太郎先生がデビュー作で描いた、よいこと運動を具現化する活動「二級天使・石森小学校編」と題して、ユニセフの募金活動の実施など、夢と勇気をプレゼントする社会運動に成長しています。



第1回：「みんなで地球を救うヒーローになろう」



第2回：「輝け！石ノ森萬画館 萬人☆みんなの未来とともに」



第3回：「飛び出せ！ 地上絵 in 石ノ森章太郎先生の生家」



©石森プロ

一昨年のクリスマスの頃、私は自分の宝箱に、新しい『夢の種』を仕掛けてみました。それは「環境保全米」という、ふるさと登米市のお米です。

減農薬・減化学肥料の自然にやさしいこのお米は、自然を守る正義のヒーローのイメージにふさわしい、章太郎先生のおふるさとにぴったりの『夢の種』です。

2014年、このお米は石森小学校田に広がって、先生のメモリアルデーで幸せを呼ぶ「果報餅」となり、記念館に集まる皆さんにふるまわれました。

私は、章太郎先生の「宝箱」をみて、自分の心の奥底にしまいかんだままになっていた、宝箱の存在を思い出しました。この宝箱には、みんなが幸せになれる『夢の種』をいくらでも入れることができます。そしてこの種は、みんなで気持ちをおあわせれば、どこまでも大きく育てることができるのです！

章太郎先生は晩年に「マンガを活かした夢のあるまちづくり」と題して、ふるさとの町の小さな公民館で講演会を開きました。

そこで先生は目に涙をためて、ふるさとをみんなと良くしたい！と力説されていたそうです。

『宝箱』は、皆さん一人一人の心の中に、大事にしまっているものです。

皆さんも、心の中で光り輝く宝箱を取り出して、大きく夢を育ててみませんか。



石ノ森章太郎先生がふるさとに遺したメッセージ
町おこし人おこし

町は一人ではおこせませんが

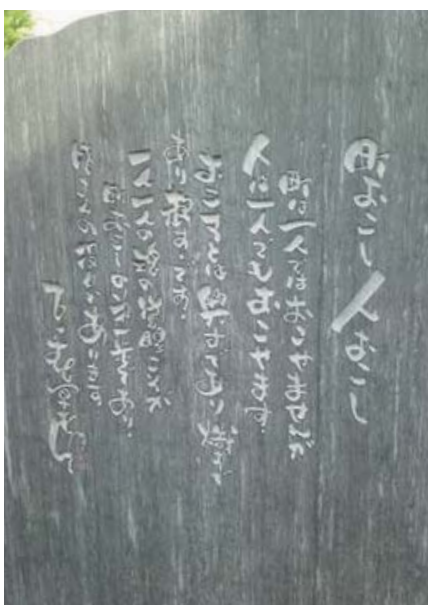
人は一人でもおこせます

おこすとは興すであり熾すであり起すです

一人一人の魂の覚醒こそが

町おこしの第一歩であり

皆さんの役目であります



石ノ森章太郎ふるさと記念館の石碑



©石森プロ

